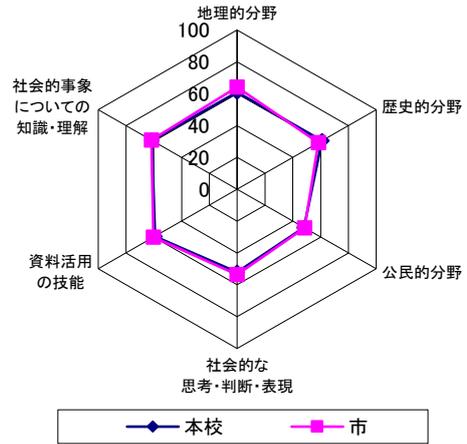


# 宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	60.9	64.1	57.5
	歴史的分野	61.0	58.4	52.8
	公民的分野	48.1	48.5	40.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	52.1	53.6	47.5
	資料活用技能	59.2	60.3	53.3
	社会的な事象についての知識・理解	61.4	61.8	55.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>平均正答率は、市の平均を3.2ポイント下回っている。</p> <p>○内容別の正答率において、資料をもとに社会的な思考・判断・表現を問う、適切な人口ピラミッドを選択する問題では校内正答率は83.4%で、市の平均を7.4ポイント上回った。</p> <p>●記述に関して、複数の資料をもとに自分の意見を表現する能力に課題が見られる。</p>	<p>・地理的分野では、社会的な思考・判断・表現の育成を図ってきた。しかし、複数の資料から読み取り、表現をするなどの問題で課題が見られた。視聴覚資料等を用いて具体的なイメージを想起させて、知識を獲得しやすくしたい。また、知識の定着を図るために、地名・場所・特色をあわせて捉えさせたい。</p>
歴史的分野	<p>平均正答率は、市の平均を2.6ポイント上回っている。</p> <p>○内容別の正答率において、西暦と世紀の表し方の習得について問う問題では校内正答率は74.3%で、市の平均を19.5ポイント上回った。</p> <p>●史実についての判断を問う並び替えの問題は、市の平均を4.9ポイント下回った。各時代の内容の整理に課題が見られる。</p>	<p>・歴史的分野では、重要語句を覚えるのはもちろんのこと、歴史的事象の因果関係も説明できるようにならないといけない。そのため、「複数資料からそれぞれ読み取れることは何か」、「複数資料から総合していえることは何か」を一つ一つ順を追って考えさせていきたい。また、史実の判断を問う問題に課題があることから、各時代の歴史の流れを理解させ、単なる暗記教科料としてではなく、考える力を育てていきたい。</p>
公民的分野	<p>平均正答率は、市の平均を0.4ポイント下回っている。</p> <p>○公共の福祉と新しい人権について問う問題で、市の平均を上回っている。特に、記述で答える問題では、市の平均正答率を8ポイント上回った。</p> <p>●憲法や人権を問う問題で市の平均を4ポイント以上下回った。身近に感じづらい憲法や人権の仕組みに関する理解の定着に課題が見られる。</p>	<p>・公民的分野では、内容によって地理・歴史的分野の学習内容を活用し、学習を進めていくことが多い。そのため、各分野で学んだことをいかし、多面的・多角的に考えることができるよう、3分野を関連づけた授業を展開できるように取り組んでいきたい。また、公民的分野の中でも、生徒が身近に感じる内容が難しい内容については、ニュースなど実生活と関わるものを活用しながら、知識の定着を図りたい。</p>